

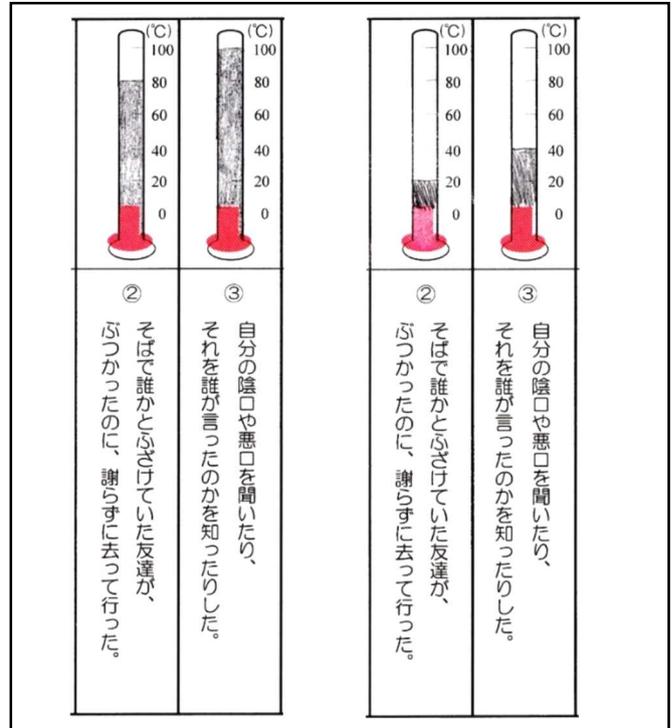
授業を振り返って①<中学校>

「怒りについて考えよう」

視点Ⅰ 本時のねらいを達成できたか

1 怒りの感じ方の理解について

- 個人で「怒りの温度計」を記入する際には、教師が項目を1つずつ読み上げて、生徒が提示された状況を理解しているか確認しながら活動を進めたため、生徒は活動に集中し、安心して自分の気持ちを表現しました(資料1)。また、この活動を通して、自分の怒りの感じ方について気付いたことや考えたことを、発表したり振り返りシートに記述したりする生徒もいました(資料2)。
- 「怒りの温度計」を班の友達と比較して気付きを記入する活動では、同じ状況であっても怒りの感じ方は人それぞれ違うことへの気付きやその気付きを今後の生活に生かそうとする記述が見られました(資料3)。



資料1 生徒が記入した「怒りの温度計」
(ワークシートより)

自分は、少し怒りっぽいところだ。今日の学習で分かったのをよく意識したいです。

資料2 「怒りの温度計」を作成したときの
生徒の気付き(振り返りシートより)

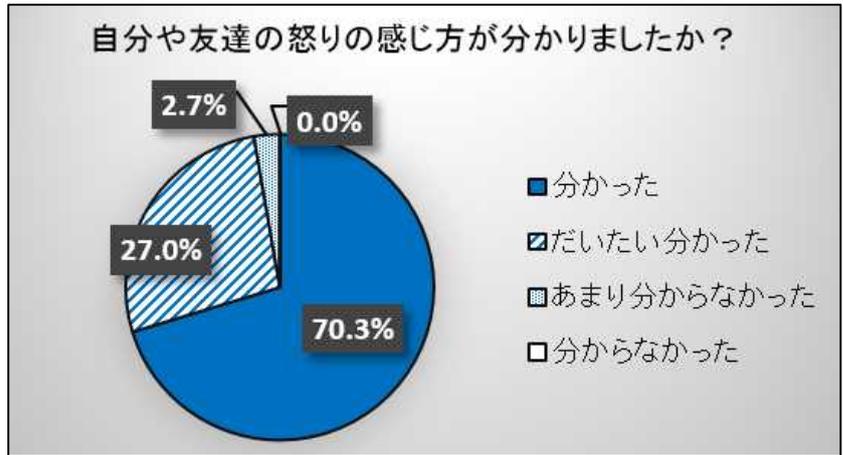
個人個人で、思うところがちがって、自分は〇〇と思ってることも、相手は怒ってるかもしれない、という、感じ方の違いが分かった。

人によって温度差が違うことにびっくりしました。

みんな、それぞれ怒りが違って、気にされることが多々あるので、言葉や行動には気をつけたいと思いました。

資料3 「怒りの温度計」を比較する活動での生徒の気付き
(ワークシートより)

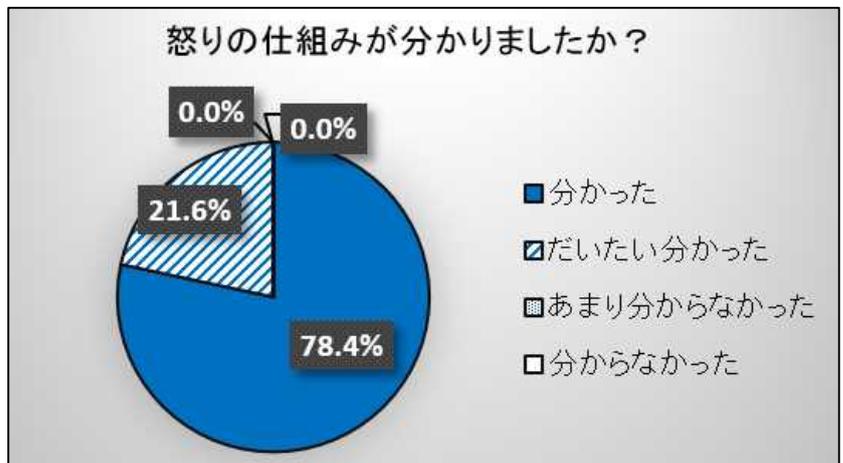
- 振り返りシートの「自分や友達の怒りの感じ方が分かりましたか」の質問に対して「分かった」と「だいたい分かった」と回答した生徒の合計は97.3%でした(資料4)。「怒りの温度計」の記入と比較の活動を通して、怒りの感じ方についての理解を深めることができました。



資料4 怒りの感じ方の理解についてのアンケート結果 (振り返りシートより)

2 怒りの仕組みの理解について

- 振り返りシートの「怒りの仕組みが分かりましたか」の質問に対して「分かった」と「だいたい分かった」と回答した生徒の合計は100%でした(資料5)。怒りの仕組みの説明は、怒りの大きさを風船に例えてスライドのアニメーション機能を用いながら提示したことで、生徒の理解を深めることができました。



資料5 怒りの感じ方の理解についてのアンケート結果 (振り返りシートより)

- 振り返りシートの生徒の感想を見ると、爆発、判断力、怒りの風船、イライラなど怒りの仕組みの説明で使用した言葉を使っていました。また、怒りの仕組みの理解を通してこれまでの生活を振り返る記述や学んだことを今後の生活に生かそうという記述が見られました(資料6)。

怒りのくみで たくさんイライラしてきたら判断力がなくなることもいろいろ分かりました。

怒りが爆発すると判断力がゼロになるというのが分かりました。今、振り返ってみると、怒っていると何も考えずに言っちゃったと思います。

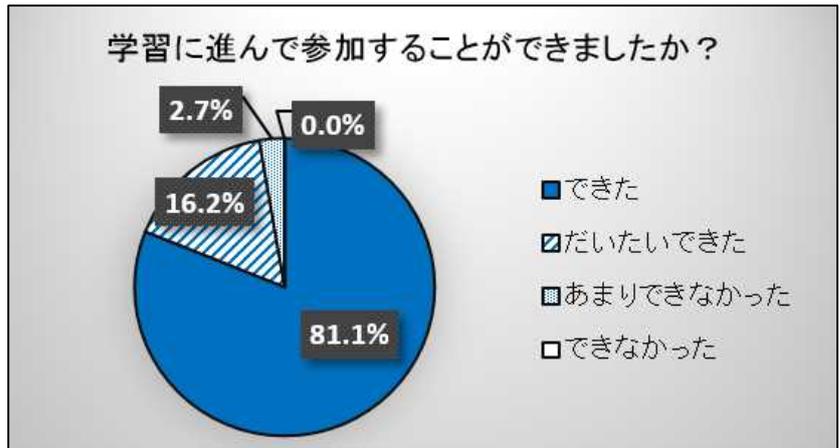
怒りは抑えたくても抑えきれず、怒りの風船が膨らんで爆発し、爆発したとき、やってはならないこととして行動が止まらず、てしどけいかなければ当然してはいけなから、イライラしてて一つ考えて深呼吸をすることも大事だと思います。そして下はいいときに先生などに相談したいです。みんな平和であります。

資料6 怒りの仕組みについての生徒の感想 (振り返りシートより)

視点Ⅱ 次時につながる内容であったか

○ 振り返りシートの「学習に進んで参加することはできましたか」の質問に対して「できた」と「だいたいできた」と回答した生徒の合計は97.3%でした(資料7)。授業全体を通して、教師の問い掛けに、自ら発言したりうなずいたりする姿が多く見られました。また、班で話し合う場面においても、時間いっぱい自分のトラブルの体験やそのときの気持ちについて話したり、自分と友達の「怒りの温度計」を比較した感想や気持ちを述べ合ったりしました。

○ 振り返りシートの生徒の感想には、「怒りの温度計」の学習で気付いたことを今後の生活に生かそうとする記述が見られました。また、日頃の自分の行動を振り返る記述も見られました。さらに、授業前半で学習した怒りの感じ方の違いと怒りの仕組みを関連付けた記述や、怒りの仕組みを知ったことで怒りをコントロールすることの必要性に気付いたという記述が見られ、次時の怒りの対処法の学習につながる内容になりました(資料8)。



資料7 学習への参加状況についてのアンケート結果 (振り返りシートより)

「怒りの温度計」というのは、初めて書きました。みんなは、こんなときに、怒りがあふんだと分かりました。

今日の学習で、みんなの怒りの温度計を参考にしながら、こういうことをしたら、怒るんだということを考えながら生活していきたいです。

人と人との感情が違ふことが分かりました。人には人の怒りがあり、自分の接し方などを振り返らなくてはと思いました。

その瞬間的な感情で自分でも思いがけないような行為をしていることがたびたびあり、注意して生活していきたいと思った。

人はそれぞれ違うので、ささいな事ですぐ怒ったり、これぐらいで許せるという人もいます。みんなのいかりの仕組みはほぼ同じなのにそこに任われていく感情の違いがあっておもしろいなと思いました。それぞれの人の特徴をつかみながら生活していきたいです。

怒りの仕組みが分かったので、事前に爆発はしないようにする必要がありました。

自分と友達との怒りは少し違っていました。自分が「なんで怒るの?」と思っても相手とは怒りの感じ方が違うから、そこは気を付けたいと思います。

資料8 生徒の感想(振り返りシートより)